

平均的なビジネスパーソンが年間で読む本の冊数が十数冊と言われる中、成功している経営者は年間 60 冊、つまり週に 1 冊以上のペースで本を読んでいるそうです。SNS やインターネットで膨大な情報が瞬時に手に入る時代に、成功者たちが今もなお「紙の本」を手にするのは、読書が優れた自己投資だからでしょう。

## 知っとこ! 「税」のマメ知識

### 今月のマメ知識:【印紙が不要な領収書とは】

クレジットカードで決済が行われた場合、領収書に印紙を貼る必要があるかどうかは、実務ではよく問題になります。印紙税が課されるのは、印紙税法で定められた課税文書に限られているため印紙の要否は作成される文書が課税文書に該当するかどうかで判断されます。現金決済の領収書は、金銭の受領事実を証明する目的で作成されるため課税文書となり、金額が一定以上であれば印紙が必要です。一方のクレジットカード決済は信用取引によって商品や役務を提供するものであり、実際に現金や有価証券を受領しているわけではありません。したがって表題が「領収書」であっても課税文書には当たらず、印紙は不要です。ただし「カード利用」の旨を記載しなければ、課税文書と誤解される可能性があるので注意が必要です。さらに金融機関のキャッシュカードを用いる即時決済型のデビットカードでは、支払いと同時に口座から現金が引き落とされるため現金受領と同様に扱われ、領収書には印紙が必要となります。



## 光を放つ 名言コラム

### 【掃除は掃除】

大妻女子大学教授の牧野智和氏は2012年から1年間「プレジデントオンライン」で自己啓発と社会について連載をしていました。その中で、掃除や片付けに関する本の基本的な傾向は今も昔も「掃除は掃除」「片づけは片づけ」で、それ以上は求めておらず「掃除をすれば人生が変わる」など自己啓発との結びつきがみられるようになったのは近年になってからと指摘しています。ここでハッとしたのは「掃除は掃除」「片づけは片づけ」という割り切りです。私たちは何かをするときに、言い訳めいた理由や目的を考えることがあります。それは必要ないのではないか。掃除も片付けもしなければならないからする、人生とは別問題、ビールもあこがれのバッグも働いたごほうびなどと言わずに、飲みたいから飲む、買いたいから買うでいい。そんなふうにシンプルに考えたほうが、エネルギー・ロスもストレスも少ない気がします。

## 世界の偉人伝

### 今月の偉人:【ガリレオ】

「近代科学の父」と呼ばれるガリレオ・ガリレイは16～17世紀の天文学者です。北イタリアのピサに生まれ、17歳でピサ大学に入学、その後、教鞭をとりながら数学や幾何学、物理などの研究に没頭しました。「疑いは発明の父」と唱し、実験と観察を重視する手法で多くの業績を残しています。天文学では自ら発明した望遠鏡による天体観測の結果で地動説を実証するも、カトリック教会から異端と見なされ、宗教裁判で終身刑を言い渡されました。輝かしい業績と苦難に満ちた一生でした。

デジタルデータに変換して保存すると便利な物の代表は写真ですが、郵便物や書類、取扱説明書、病院の書類や健康診断の結果などもデジタルの保存に向いています。スマホのスクリーン機能や専用アプリでPDF化してクラウド上でフォルダ保存。管理も簡単です。

知って得する。知恵袋

## 才人の言葉

毒蛇は急がない

日本の作家である開高健が広めたタイ王国のことわざ。毒蛇は強力な武器を持っているため何者も恐れず悠然としている。自分に自信のある者は決して焦らない。

## 振り向けばあそこにも ここにも 商売のヒント

### 今月の商売のヒント：【読書という最高の武器】

イーロン・マスクは9歳でブリタニカ百科事典全巻を読破し、若い頃は1日最大10時間もSF小説を読んでいたのは有名な話です。

「経営の神様」と呼ばれた稲盛和夫さんも若い頃から哲学書や歴史書などを読みあさり、独自の経営哲学「京セラフィロソフィ」を築き上げました。多読で知られる孫正義さんは、特に歴史小説、中でも司馬遼太郎の作品から多くの知見を得たと公言しています。多忙を極める経営者たちは、なぜそこまでして「紙の本」を読むのでしょうか。その理由は、読書が「コストパフォーマンスに優れた最高の自己投資」だからではないかと思います。本は、先人たちが膨大な時間と労力をかけて築き上げた知恵と知識の結晶であり、彼らの成功と失敗の記録ともいえます。私たちが直接、経験できることには限りがありますが、読書を通じて他者の仕事観や人生の軌跡を追体験することで、自分の経験値を飛躍的に高めることができるのです。また読書によって多様な思想や価値観に触れることで、自分なりの考えや信念、確固たる判断基準を築くことにも役立つでしょ



う。読書習慣のある成功者に共通しているのは、単に知識を得るために本を読むのではなく、歴史や哲学から人生や経営の本質を学び、独自の哲学や確固たる判断基準を築くために読書を活用している点です。インターネット上

の情報が短期的なビジネスのヒントだとすれば、紙の本は永続的な自己成長を支える羅針盤といえるでしょう。本の解説動画やオーディオブックも便利ですが「自分の血や肉となる最高の自己投資」を目指すのであれば「読む」に勝るものはなさそうです。



### 今月のトピック：【スマホ認知症】

スマートフォンの長時間使用による「スマホ認知症」予備軍が増えています。激しい物忘れや集中力の低下、言語障害などの原因は、膨大な情報量进行处理する脳のオーバーワークによるものだとか。使用時間の制限、スマホなしの散歩やぼんやりする時間で脳を休めれば改善します。適度な距離感と、人間本来の生活が身を守る鍵となるようです。



## トナリの本棚

### 【自分の変え方】

認知科学コーチングのプロである村岡大樹の著書。「なぜ人は変わらないのか」を分かりやすく丁寧に解説しています。自分の可能性を信じたくなる一冊です。



元氣と氣づきを提供する  
東京都豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所

豊島区池袋2-60-7 ルート池袋第3ビル4階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>